

Title	研究哲学に裏打ちされた知識創造活動 成果報告 : <イノベーション研究> 分野横断研究の推進、新しい イノベーション教育の基盤構築
Author(s)	
Citation	
Issue Date	2008-03-31
Type	Research Paper
Text version	publ isher
URL	http://hdl.handle.net/10119/5073
Rights	
Description	北陸先端科学技術大学院大学21世紀COEプログラム「知 識科学に基づく科学技術の創造と実践 - 分野横断イノ ベーション研究教育拠点 - 」プロジェクト2-B

〈イノベーション研究〉分野横断研究の推進、新しい教育の基盤構築
研究哲学に裏打ちされた知識創造活動

代表者：由井 伸彦（マテリアルサイエンス研究科 教授）

《成果報告》

2008年3月31日 現在

● **発表論文・出版物**

- ・吉永崇史：「科学知識の創造を支えるマネジメント—実験系（物理学）研究室を対象とした事例研究」, 科学技術社会論学会第5回年次研究大会, pp. 217-222, 2006.
- ・由井伸彦：「クリエイタの研究哲学」, 知識創造場論集 第4巻 第2号, pp. 24-36, 2007.
- ・水谷五郎：「研究者の動機付けと研究室運営についての実地調査」, 知識創造場論集 第4巻 第2号, pp. 37-38, 2007.
- ・Kitsakorn Locharoenrat and Goro Mizutani, 「Success of Life Based on Motivation Behavior: Case Study between Japanese students and Asian students at JAIST」, 知識創造場論集 第4巻 第2号, pp. 38-42, 2007.
- ・吉永崇史：「科学知識の創造のためのラボラトリ・マネジメント—北陸先端科学技術大学院大学 水谷研究室を対象とした事例研究」, 知識創造場論集 第4巻 第1号, pp. 5-8, 2007.
- ・由井コロキウム編著(由井伸彦・本多卓也・水谷五郎・吉永崇史)「続研究哲学 研究の道の向こう」, JAIST Press, 2008
- ・吉永崇史：「組織的知識創造研究のための理論・方法論的アプローチの検討—物語研究と質的研究手法についての研究—」, 知識創造場論集 第4巻 第5号, pp. 45-79, 2008.



続 研究哲学
研究の道の向こう

由井コロキウム 編著

- ◇A5判 368ページ
- ◇発行元：JAIST Press
- ◇出版年：2008年

● **講演・コロキウム・その他**

◇由井コロキウム実施一覧

由井コロキウムは毎回テーマを一つ挙げて、発表者はそのテーマに基づく話題提供を行う。その後で、参加メンバーがディスカッションを実施し、理解を深めた。

◇開催日時・場所及び開催テーマ * () 内は発表者

【第1回】2006年5月30日(火) 16:00~18:00 / 知識科学研究科Ⅲ棟6階 コラボレーションルーム
テーマ① 「研究者の倫理観について—不正・捏造事件から考える—」 (由井)
【第2回】2006年6月13日(火) 17:00~19:00 / 知識科学研究科Ⅲ棟6階 コラボレーションルーム
テーマ② 「創造的研究と情緒の関係性について」 (本多)
【第3回】2006年6月27日(火) 17:00~19:00 / 知識科学研究科Ⅲ棟6階 コラボレーションルーム
テーマ③ 「研究への動機付けについて〈I〉」 (吉永)
【第4回】2006年7月4日(火) 17:00~19:00 / 知識科学研究科Ⅲ棟7階 セミナールーム
テーマ④ 「研究者のあるべき姿について—日米の比較から—」 (水谷)
【第5回】2006年7月18日(火) 18:00~20:00 / 知識科学研究科棟2階 3.4講義室
COEイノベーション研究プロジェクト交流 - COE学際セミナーにて実施 「由井×本多×水谷流！研究哲学に学ぶ—知識創造活動のために—」 プロジェクトメンバー3名による研究哲学をテーマとした発表と、意見交換を実施

【第6回】2006年9月 5日(火) 17:00~19:00 / 知識科学研究科Ⅲ棟7階 セミナールーム
【第7回】2006年9月19日(火) 17:00~19:00 / 知識科学研究科Ⅲ棟7階 セミナールーム
テーマ⑤ 「日本人が“世界に通用する”ために」 (由井)
【第8回】2006年10月3日(火) 17:00~19:00 / 知識科学研究科Ⅲ棟7階 セミナールーム
テーマ⑥ 「独創的研究と研究室文化の関係性について」 (吉永) - JAIST・マテリアルサイエンス研究科 水谷研究室を題材として -
【第9回】2006年10月17日(火) 17:00~19:00 / 知識科学研究科Ⅲ棟7階 セミナールーム
テーマ⑦ 「研究への動機付けについて〈Ⅱ〉」 (吉永・LOCHAROENRAT)
【第10回】2006年11月7日(火) 17:00~19:00 / 知識科学研究科Ⅲ棟7階 セミナールーム
テーマ⑧ 「研究への動機付けについて〈Ⅲ〉」 (吉永)
【第11回】2006年11月21日(火) 17:00~19:00 / 知識科学研究科Ⅲ棟7階 セミナールーム
テーマ⑨ 「学際・文理融合研究・教育について〈Ⅰ〉」 (吉永)
【第12回】2006年12月5日(火) 17:00~19:00 / 知識科学研究科Ⅲ棟7階 セミナールーム
テーマ⑩ 「学際・文理融合研究・教育について〈Ⅱ〉」 (吉永) テーマ⑪ 「イノベーションについて」 (水谷)
【第13回】2006年12月19日(火) 17:00~19:00 / 知識科学研究科Ⅲ棟7階 セミナールーム
テーマ⑫ 「研究への動機付けについて〈Ⅲ〉」 (吉永)
【第14回】2007年2月6日(火) 17:00~19:00 / 知識科学研究科Ⅲ棟7階 セミナールーム
テーマ⑬ 「知識について」 (本多)
【第15回】2007年2月20日(火) 16:00~20:00 / 知識科学研究科棟2階 3.4講義室
テーマ⑭ 「組織的知識創造について」 (由井)
【第16回】2007年3月13日(火) 17:00~19:00 / 知識科学研究科Ⅲ棟7階 セミナールーム
コロキウム全体総括と平成19年度構想

●19年度は出版物に関する企画制作会議として実施



由井コロキウム風景



実施報告書

■ 研究メンバー ■

水谷 五郎 (マテリアルサイエンス研究科 教授)

本多 卓也 (知識科学研究科 教授)

鶴岡 洋幸 (科学技術開発戦略センター 研究員)

吉永 崇史 (科学技術開発戦略センター 研究員)

LOCHAROENRAT, Kitsakorn (マテリアルサイエンス研究科 博士後期課程 RA) 2007年9月まで